

① 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-156	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅡ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	CⅡ 061-901	Revised ELEMENT English Communication Ⅱ		

1. 編修の基本方針

- ・教師にとって教えやすく，生徒にとって学びやすい教科書とする。
- ・題材を通じて，生徒の学力向上や精神的な成長に寄与できる教科書とする。
- ・生徒が自律的に学び，何ができるようになるのか，どのように身に付けるのかがわかる教科書とする。
- ・古今東西の話題から，生徒が積極的に接することができる題材を厳選して提示し，生徒が知識・技能を活用して思考力・判断力・表現力を養える教科書とする。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
各レッスン	・各題材を通じて，幅広い知識と教養を身に付け，真理を求める態度を養い，豊かな情操と道徳心を培えるようにした。(第1号)	
Lesson 1	・題材を通じて，幅広い知識と教養を身に付け，真理を求める態度を養い，豊かな情操と道徳心を培うとともに，健やかな身体を養えるようにした。(第2号) ・題材を通じて，伝統と文化を尊重し，それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに，他国を尊重し，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにした。(第5号)	pp.16-27
Lesson 2	・題材を通じて，個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培い，自主及び自律の精神を養うとともに，職業及び生活との関連を重視し，勤労を重んずる態度を養えるようにした(第2号)。	pp.28-39
Lesson 3	・題材を通じて，伝統と文化を尊重するとともに，他国を尊重し，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにした。(第5号)	pp.40-51
Lesson 4	・題材を通じて，正義と責任，自他の敬愛と協力を重んずるとともに，公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養えるようにした。(第3号)	pp.52-63

Lesson 5	・題材を通じて、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるようにした。(第2号)	pp.74-85
Lesson 6	・題材を通じて、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにした。(第1号)	pp.86-97
Lesson 7	・題材を通じて、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるようにした。(第2号)	pp.98-109
Lesson 8	・自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにした。(第3号) ・題材を通じて、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにした。(第5号)	pp.110-121
Lesson 9	・生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるようにした。(第4号)	pp.132-145
Lesson 10	・題材を通じて、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにした。(第4号)	pp.146-159
3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色		
・紙面レイアウトを工夫し、写真を厳選するなどして、視覚的にも理解しやすい教科書とした。		

① 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-156	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅡ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	CII 061-901	Revised ELEMENT English Communication II		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- ・生徒が積極的に読んだり、聞いたり、話したり、書いたりできる興味深い題材を様々な分野から採用した。
- ・情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基本的な能力を養える構成とした。
- ・バランスよく、4技能5領域にわたるコミュニケーション能力の基礎が身に付く構成とした。

<高等学校外国語科の目標を達成するために用いた工夫>

- ①外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。(知識・技能)
- ・各レッスンの扉において生徒の興味を引く写真を掲載し、レッスンテーマに関しての興味関心を引き出す問を掲載した。
 - ・各レッスンの **Listening** において、実際に起こりうるさまざまな場面や状況を設定し、適切に聞くことができる技能を身に付けられるようにした。
 - ・各レッスンの **Reading** において、異なる題材・形式の英文を用意し、的確に理解できたかを確認するために、**TRY** にさまざまな形式の問題を設けた。また、**TRY** の **Retelling** においては、リテリング活動を通じて本文内の語彙や表現、文法などを着実に身に付け、話したり書いたりする発信活動へ結びつけるとともに本文の内容理解を定着できるよう配慮した。
 - ・巻末の **New Words & Phrases** において、各レッスンの新出語の英英定義を示し、英語を英語のまま理解し、語彙への理解を深めることができるようにした。
 - ・**Lesson 5, Further Reading 1, Lesson 9** において、二次元コードでアメリカ英語以外の英語の音声を用意し、発音の違いについて意識する機会を設けた。
- ②コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。(思考力・判断力・表現力)
- ・各レッスンの **Listening** において、与えられた場面状況に応じて情報や考えなどの概要や要点を理解する練習ができるようにした。
 - ・各レッスンの **Reading** の **TRY** において、読んだ英文の概要や要点をすばやくつかみ、リテリングやペア活動などを通じて、書き手の意図を話し合ったり、それについての自分の意見を述べ合ったりするといった活動ができるようにした。

- ・各レッスンの **Speaking & Writing** において、読んだり聞いたりしたことを踏まえ、補助となる情報を一部活用しながら、自分の意見や考えを発信することができるようにした。
 - ・ **Communication in Practice** において、読んだ内容の概要や要点をメモとしてまとめて素早く理解し、自分の意見や考えを伝えることができるようにした。
 - ・ **Speed Reading** において、本文に関連するある程度の長さの英文を読むことで、本文への理解を深め、すばやく概要や要点をつかむ技能を身に付けられるようにした。
- ③外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(主体的かつ対話的に学習に取り組む態度)
- ・巻頭の **Course Overview** において、各レッスンの目標や活動内容を一覧にし、目標の設定と自身の達成度を推しはかれるようにした。
 - ・各レッスンの扉で、そのレッスン内で学ぶことやできるようになることを意識して学習に取り組めるようにした。
 - ・各レッスンの **Reading** の **TRY** において、複数人によるリテリングで英文への理解を深め合ったり、自身の意見や気持ちを述べ合ったりすることができるようにした。
 - ・各レッスンの **Speaking & Writing** において、さまざまなテーマや場面を設定し、聞き手や読み手などに配慮しながら、主体的・自律的に意見や気持ちを話したり書いたりすることができるようにした。
 - ・ **Communication in Practice** において、読んだり聞いたりした内容についての感想や意見を主体的に話したり書いたりする機会を設けた。
 - ・ **Further Reading 1, Lesson 5, Lesson 9** において、二次元コードでアメリカ英語以外の英語の音声を用意し、発音の違いについて意識する機会を設けた。
 - ・巻末の **Self-Check Sheet** で自身の学習を振り返り、次の学習につなげられるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
Retelling の進め方	(2)アイウ (3)①アウ ②アイ	pp.8-9	0.5
パラグラフ・ライティング	(2)イウ (3)①カ ②アイ	pp.10-11	0.5
Lesson 1 Unlock a Door to a New World	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエオカ ②アイ	pp.16-27	8
Lesson 2 Words That Inspire People	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエオカ ②アイ	pp.28-39	8
Lesson 3 Universe and Our Culture	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエオカ ②アイ	pp.40-51	8
Lesson 4 Living in the Dark Century	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエオカ ②アイ	pp.52-63	8
Communication Tip 1	(1)イウエ (2)アイウ (3)①アウエ ②アイ	p.64	0.5
Further Reading 1 The True Story of the Bear behind Winnie-the-Pooh	(1)アイウエ (3)①アウ ②イ	pp.65-69	4
Communication in Practice 1 International Day of Happiness	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエカ ②アイ	pp.70-73	1

Lesson 5 Designing the World	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエオカ ②アイ	pp.74-85	9
Lesson 6 How Our Minds Work	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエオカ ②アイ	pp.86-97	9
Lesson 7 The Quiet Infrastructure	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエオカ ②アイ	pp.98-109	9
Lesson 8 Cultures around the World	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエオカ ②アイ	pp.110-121	9
Communication Tip 2	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエ ②アイ	p.122	0.5
Further Reading 2 Miss Moore Thought Otherwise	(1)アイウエ (3)①アウ ②イ	pp.123-127	4
Communication in Practice 2 Asking Opinions on Social Media	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエカ ②アイ	pp.128-131	1
Lesson 9 Shedding Light on Green Myths	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエオカ ②アイ	pp.132-145	10
Lesson 10 From Dialogue to Resolution	(1)アイウエ (2)アイウ (3)①アイウエオカ ②アイ	pp.146-159	10
Communication in Practice 3 Visiting a Space Center	(1)アイウエ (2)アイウ	pp.160-163	2

	(3)①アイウエカ ②アイ		
Speed Reading 1-10	(1)イウエ (3)①アウ ②イ	pp.164-173	4
		計	106

年間配當時数 106 時間（予備時間 34 時間）

学習指導要領の内容の取扱い	図書構成・内容	該当箇所
コミュニケーションを図る資質・能力を育成するためのこれまでの総合的な指導を踏まえ、五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、総合的に指導するものとする。	「英語コミュニケーション I」における既習の語句や文構造、文法事項などを繰り返し利用し、4 技能 5 領域において総合的な言語力を身に付けられるよう配慮した。また各レッスンの Speaking & Writing では、読んだり聞いたりしたことを踏まえて、自分の意見を書いたり話したりする活動を用意し、5 つの領域を結び付けた統合的な指導ができるようにした。	pp.16-27 など
	Communication in Practice 1～3 において、これまでの既習事項を踏まえ、各場面において複数の領域を結び付けた言語活動を行えるよう配慮した。	pp.70-73 など